

「第1回 地域環境保全活動連絡会」開催される。

去る7月5日(火)ワキタ天満橋ビルにおいて、第1回「地域環境保全活動連絡会」が開催された。久しぶりに顔を合わせる人たちとの挨拶と笑顔が見られる中、10時30分に司会の金戸理事より開会の宣言がなされ、記念すべき第一歩を踏み出した。



この連絡会の案内は、調査研究部門及び、シニア自然大学校認定のサークルに送付され、当日は22グループ29名関係理事を含めて33名が出席した。

開会の挨拶で、地域貢献活動部門長の貴志理事より、「このような活動は過去にもあったが続いていない。これは是非継続させていきたい」と述べられ、強い意気込みが感じられた。

この後、各グループ1分の自己紹介がなされたが、どのグループも熱心な活動内容の紹介があり、予定を大きくずれ込み1時間近い紹介だった。続いて議題に入り、地域環境保全活動活性化についての趣旨説明があり、三つの狙いが述べられた。

- ①シニア自然大学校の環境保全活動の成果を発信する ②シニア自然大学校とサークルの距離を縮める ③資金面の援助の制度化そして、これを定例的に毎年続けたい。
- 続いて、地域環境保全活動グループへの支援金制度についての説明があった。

1) 支援の対象となる活動

- ・環境保全活動に関する実践活動、教育啓発活動、調査研究活動

2) 申請手続き

- ・活動内容を所定の用紙にまとめ提出する。
- ・提出期限は平成28年9月10日(土)～9月20日(火)

3) 支援の決定、金額、発表会

- ・選考委員による審査、審議を経て6団体に支援金5万円、計30万円を支給する
- ・受給する団体は、「地域環境保全活動発表会」にて発表する

4) 発表内容は、「自然と環境」または「自然と仲間」及びホームページに掲載する

この後、質疑応答がなされた。その主だった内容は次の通り。

- ・名称に地域とあるがあえて必要ないのではないかと検討する
 - ・評価基準をはっきりさせないといけないのでは?→審査項目を5段階の基準で評価する予定だが、事前に提示するかについては検討する
 - ・発表内容は、外部向けの「自然と環境」に載せてほしい→「自然と環境」にはもちろん掲載する予定だが、発行が不確定であるので、ホットなニュースとして「自然と仲間」にも掲載したい。また、後続の人材を育てる意味でも「自然と仲間」に掲載したいと考えている。なお、外部向けへの方法はさらに検討していきたい
- 発表会は12月初旬の予定で、講師を招聘し講演会を行いその後に発表会へとつなげたい。シニア自然大学校全体、(本科講座生、カレッジ講座生などにも)に、また、一般の方々にも参加者を呼びかけたい



熱のこもったグループ紹介



閉会の挨拶でも“継続”していきたいとの強い言葉が聞かれ1回限りで終わらないという決意のほどが感じられた。「自然と仲間」編集担当として、今後の動きを注視し規模、内容共に大きく飛躍することを願わずにはいられない。

(広報 中谷)

「第1回 地域環境保全活動連絡会」参加者(申込み順)

1. 展葉フェノロジー調査会 2. 水生生物科 3. 水辺環境調査会 4. 森と海の自然科 以上調査研究部
1. 菊炭クラブ 2. 里山の山野草を守る会 3. なにわの伝統野菜研究会 4. 青垣の里山を守る会 5. 六甲からと村 6. たかつき竹和の会 7. 奈良・人と自然の会 8. この指たかれ 9. いこま棚田クラブ 10. グリーンソジャーMY コチの会 11. 和泉葛城ネイチャー 12. 子どもエコ俳句 13. 身近な葉草の会 14. 奈良の自然を観察する会 15. 豊中支部 16. 刈刈コミュニティを創る会 17. 地質クラブ 18. みずほの会